

## 第2回 学校評価アンケートの報告と今後の取り組みについて

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2学期末の「学校自己評価アンケート」にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆様からいただきましたアンケートと児童、職員アンケートについて、また、授業参観を通して、第2回コミュニティスクール（CS）運営委員会で協議していただきましたので、お知らせいたします。

「アンケート」の結果については、裏面をご覧ください。お寄せいただきましたご意見等につきましては、職員会議において扱い、話し合いました。引き続き、児童の健全な育成のために努力して参ります。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### I 第2回コミュニティスクール（CS）運営委員会から

1 期 日 令和3年2月1日（月）

2 参加者 コミュニティスクール運営委員、学校長、教頭、教務主任

3 資料等 「第2回学校評価アンケート」（授業参観もしていただきました）

4 当日出された主なご意見

- ・コロナウイルスの影響で前半に休業となり大変だっただろう。低学年を参観させていただいたがとても落ち着いていた。一年生がすばらしかった。友だちの考えに対して「いいです」「同じです」など、発表した人とかかわりができていた。学習をみんなで進めていく雰囲気を感じられた。低学年から授業の進め方をきちんと身につけていかれるととてもよい。
- ・「対話」は、話し合いの質を学校全体で上げていかれるようにしたい。「基礎学力」なら、例えばドリル学習を継続して行った結果、自分が伸びていると実感できるようにしたい。ドリルのあと、ミニテストなどで確かめるのも一つの手だと思う。
- ・「対話」については、日本人は「下手」「苦手」を言われる。「対話」によっていろいろな考えを聴き、理解し合うことが大事。子どもたちの将来にとって必要な力をぜひ身につけさせていただきたい。
- ・教室に入ってすぐに板書を見れば、今、子どもたちが何をやっているかわかる。学年が上がるにつれて、板書が整然としてよかった。板書が整然としていると、子どもたちのノートもきちんととれている。資料、色チョーク、学習問題・学習課題のカードなどがきちんと使われていた。
- ・コロナ禍で大変な中だが、わかる授業を先生方が進めている様子がわかった。机を離してあることも、自分で学んでいく姿勢をつくっていくためのよいのかもかもしれない。昨年度と比べて職員のC評価が少なくなった。先生方が変われば子どもたちも変わる。先生方が変わろうとする姿勢が見える。
- ・廊下に消毒、手洗い・うがい喚起のポスターがあり、寒い中だが換気もしっかりされていた。
- ・コロナ禍で今まで当たり前だったことができなくなってしまったが、なかなか体験できないことを体験できているということもある。伸びる糧になってくれればと思う。
- ・入学した子は、勉強するのが楽しくて仕方がない様子。子どもたちにはだれにも伸びていきたいという気持ちがあると思う。どの子も達成感を得られるよう、先生方に考えていただきたい。
- ・ボランティアの方の日々の支えに感謝している。見守り隊の方が立ってくださるおかげで、自分自身も朝、安心して運転していただける。
- ・「つむぐ」についての評価が低いですが、自分の子どもをみてもなかなか大変な取り組みだと思う。
- ・コミュニティー通信をはじめて読ませていただいた。とてもいいことだと思う。

## Ⅱ 来年度に向けての取り組み

今回の委員会での話し合いの内容を踏まえ、コロナ禍の中、本年度の実践をもとにさらに工夫しながら、以下の点を重点に取り組んで参ります。

### 1 学校目標「かしこく」にかかわって

子どもが主体的に自分の考えを伝え合いながら、友と学ぶことの楽しさを味わえる授業づくりに取り組みます

- ・主体的で対話のある授業をめざした授業改善を進めます。児童が自ら動く、考える、語り合う授業を構築していきます。信州型ユニバーサルデザインの研究と実践を進めます。
- ・児童の特性に合った、きめ細やかな支援をしていきます。
- ・ICTを活用して、分かりやすい魅力ある授業づくりを進めます。
- ・探求的な学びの一環として、異学年や他校との交流、地域への発信など誰かを笑顔にする「まるっこ笑顔プロジェクト」に取り組みます。
- ・「静かに最後まで聞く」「わかりやすく話す」など規律を大切にしていきます。
- ・読み上げドリルや高学年補充学習など学力定着学習の時間を大切にしていきます。
- ・「家庭学習の手引き」の工夫と活用、「つむぐ」の有効な活用を通して、家庭とともに学習習慣を身に付けるよう努めていきます。
- ・学習支援ボランティアを募り、子どもの「できるようになりたい」という気持ちに応えます。

### 2 学校目標「やさしく」にかかわって

だれもが違った思いや考えがあることを知るとともに、自己肯定感を高め、自分の思いや考えと違うひと・こと・ものを認められる心を育てます

- ・あいさつに力を入れ、児童会活動、丸子地域青少年ネットワーク会議とともに、学校、地域で会った人には誰にでも心をこめて挨拶できるよう取り組みます。
- ・自分のよさ、友のよさに気付き、認め合える学級づくりを進めます。ルールやマナーを守ることのよさ、認められることのよさを感得することができる学校生活をつくっていきます。
- ・学校生活全般において、多様性に気付き、いじめや差別を許さない高い人権感覚を育成していきます。
- ・歌や音楽を響かせ合うことを通し、友と心を通わせるよさを感得できるようにしていきます。
  - ・一人ひとりの特性に配慮したチーム支援、環境づくりを行っていきます。
- ・PTA、地域と協力して子どもが認められる機会を大切にしていきます。

### 3 学校目標「ひたむきに」にかかわって

目標の実現に向かってひたむきにがんばれる強い心と体を育みます

- ・「つむぐ」を活用し、規則正しく健康的な家庭生活（食事と睡眠、家庭学習、ゲームやメディアとのつきあい方）について、保護者の皆様と協力し、実践していきます。
- ・全校、学年、学級で決まったことを皆で守ったり、全ての委員会の活動に協力し参加したりすることを通して、皆で力を合わせて活動をつくりあげることのよさを感じられるようにしていきます。
- ・一人ひとりが気持ちよく生活するために、自らを振り返る機会を大切にします。
- ・体みがき体操に継続して取り組み、継続的に取り組める他の運動（わくわくマラソン等）も行い、体力の向上を図ります。

\* 集計結果の詳細につきましては、  
丸子中央小学校ホームページ→学校評価に掲載しております。

上田市立丸子中央小学校  
教頭 小山 俊樹  
教務主任 甘利 恵美子  
TEL : 42 - 2112